この使用説明書をよく読んでからご使用下さい。

＊平成２６年１月改訂（第２版）
354211-2　平成 21 年７月作成（第１版）

乳酸菌検出用

DDチェッカー　MBCP寒天培地

＊【全般的な注意】
1.本品は、微生物の取り扱いに習熟した人の指導のもとにバイオハザード対策を実施した上で使用して下さい。
2.使用説明書以外の使用目的、使用方法については保証を致しません。
3.培地が目や口に入った場合には、水で十分に洗い流し、必要があれば医師の手当て等を受けて下さい。

【形状・構造等（キットの構成）】
ＭＢＣＰ寒天培地
乳酸菌を特異的に検出するMBCP 培地です。
（他の培地と区別するため、シャーレに“MBCP”と印字してあります。）

【使用目的】
環境又は食品由来の乳酸菌の検出

【特徴】
乳酸菌は、糖を発酵し多量の乳酸を生産する細菌の総称であり、古くから乳製品や漬物・発酵調味料等、多くの食品加工に利用されています。しかし、これらの乳酸菌は同じ菌種が同じ働きをしても一方では食品の酸味や酸臭・ネトの生成など様々な変敗の原因となっています。乳酸菌制御を優先的に行うことは、これらの食品加工における加工段階や製品の品質異常を防ぐために非常に有用です。
本品は、ＢＣＰ加プレートカウント寒天培地をベースに、各種選択剤によりバチルス属細菌や真菌類等の生育を抑制し、乳酸菌を選択的に発育させます。また、検出目的とする乳酸菌は乳酸の生成により、周囲の培地を黄色に変色させます。
1.スタンプ方式のため、操作が簡便です。
2.グラム陰性細菌・バチルス属細菌・酵母類等の生育を抑制し、乳酸菌の検出を容易にします。
3.ＢＣＰ加プレートカウント寒天培地を基礎培地としているため、培地黄変を指標とした乳酸菌のスクリーニングができます。

【操作上の注意】
1.菌種により発育速度が異なりますので、培養中は毎日観察して下さい。
2.菌によっては発育の遅い場合がありますので、疑わしい検体は記載されている培養時間よりも長く培養して下さい。

【用法・用量（操作方法）】
1.必要な器具・器材・試薬等
DD チェッカーＭＢＣＰ寒天培地
恒温器又は恒温室：37℃に設定可能なものを使用して下さい。
スタンプできない検体（液体の検査材料及び表面が平滑でない検査材料等）の場合は次のものも用意して下さい。
・検体が液体の場合：滅菌綿棒（又はマイクロピペット及びマイクロピペット用滅菌チップ 20～50μＬ）
・検体表面が平滑でない場合：滅菌綿棒、滅菌生理食塩液
2.操作法
(1) シャーレを必要な枚数だけ袋から取り出し、上下に折り曲げて個々に切り離します。
(2) シャーレのフタを取り、直ちに培地面を検査材料の表面に密着させて軽く押します。
＊検査材料が液体の場合は、20～50μＬ程度を滅菌綿棒等で培地全面に均一になるように塗抹します。
＊検査材料の表面が平滑でない場合は、滅菌生理食塩液を含ませた滅菌綿棒で検査材料の表面を拭き取った後、培地全面に塗抹して下さい。
＊培地で検査箇所を擦ると寒天表面に傷がついたり剥離したりする可能性がありますので、試験時には検査箇所を擦らずに軽く押すようにして試験を行って下さい。
＊生育コロニー数が多すぎる場合には検査材料を拭き取ったのちに滅菌生理食塩液などで希釈し、20～50μＬ を塗抹すると良好な結果が得られることがあります。
(3) シャーレのフタをして、フタ表面に検査材料名等の必要事項を記入します。
(4) 37℃の恒温器又は恒温室にシャーレのフタを下にして入れ、48～72 時間培養します。
(5) 培養後、菌の発育の有無、培地の黄変について観察します。

【結果の判定法】
1.判定
48～72 時間培養後、コロニー周辺が黄色を呈したものを乳酸菌と推定します。
2.判定上の注意
(1) 食品中の成分や環境等によって菌が損傷を受けている場合、あるいは、一部の乳酸菌においては本品に発育困難な場合があります。
検出感度を高めるには増菌培養操作を含む分離培養試験が必要です。
本品で乳酸菌の性状を示すコロニーが認められない場合、検体中に乳酸菌が存在しないことを保証するものではありません。
(2) 培地中に含まれる成分によりカタラーゼの活性が抑制されますので、同定試験などでカタラーゼ試験を行う場合には、他の培地に一度継代した後に行って下さい。
(3) 乳酸菌以外の菌でコロニー周辺が黄色を呈する菌が発育することがあります。生育菌は生化学性状試験等によって乳酸菌の同定を行って下さい。

【使用上または取扱い上の注意】

1.取扱い上の注意

(1) 本品はスタンプ法を用いていますが、一般的にスタンプ法の成績は混釈法や拭き取り法の成績と一致しない場合があることが知られています。本品は汚染の程度を知るためのものであり、培地上の集落数は拭き取り法の結果とは必ずしも一致しません。また、本品での成績はいわゆる公定法の成績としては使用できません。

(2) 本品は乳酸菌検出用簡易スタンプ培地です。乳酸菌の同定には生化学性状試験又は 16S rRNA の系統分類学的解析などが必要です。

2.使用上の注意

(1) 本品は凍結厳禁のため、指定の貯蔵方法で保存して下さい。

(2) 開封後は速やかに使用し、保存する場合は袋に収め、密閉状態にして指定の貯蔵方法で保存して下さい。

(3) 本品を直接接触させた後の検査材料の表面は、水で十分に洗浄して下さい。また、本品を皮膚に直接接触させて検査した場合は水で十分に洗浄を行い、異常が認められた場合は必要に応じて医師の処置を受けて下さい。

(4) 本品を直接接触させて検査した食品検体では、検査後の食用を避けて下さい。

(5) 本品を接触させた後の検査材料の表面は、培地成分が付着していますので、アルコール綿等で拭き取って下さい。

(6) 衣服等の繊維系検査材料の表面は培地成分のしみがつく恐れがありますので、注意してご使用下さい。

(7) 本品に雑菌汚染、変色、形状変化等の品質低下が見られる場合には使用しないで下さい。

(8) シャーレの切り離し部分によっては、ケガをする恐れがありますので注意して下さい。

(9) 発育した菌による二次的汚染を起こさないために、判定後は速やかに本品を廃棄して下さい（3.廃棄上の注意　参照）。誤って培養後の菌を付着させた箇所又は付着させた可能性のある箇所は、70%アルコール、逆性石鹸又は適当な消毒剤で直ちに十分な消毒を行って下さい。

(10) 本品は、記載された操作法に従って使用して下さい。

3.廃棄上の注意

使用済みの本品、使用済みの容器及び検査に使用したすべての器具類は次のいずれかの方法で処理後、廃棄物に関する規定に従って廃棄して下さい。

(1) 121℃で 20 分間以上高圧蒸気滅菌をする。

(2) 0.1w/v%次亜塩素酸ナトリウム溶液（有効塩素 1000ppm）に１時間以上浸漬する。

【貯蔵方法・有効期間】

(1) 貯蔵方法　2～10℃（遮光・冷蔵）

(2) 有効期間　３ヶ月

（外箱に表示されている使用期限内にご使用下さい。）

【包装】

コード№	品名	包装
04310	DD チェッカー MBCP 寒天培地	20 枚入

＊【問い合わせ先】

極東製薬工業株式会社　営業学術部
〒103-0024　東京都中央区日本橋小舟町 7-8
電話　03(5645)5664
FAX　03(5645)5703

製造販売元　極東製薬工業株式会社
茨城県高萩市上手綱朝山3333−26
本社住所　東京都中央区日本橋小舟町7−8